



## TOP MESSAGE

## GM通信 11月は運動会&amp;すぽりびくくで出店&amp;第2回プログラミング発表会

今回は長年サッカーに携わってきた者としてどうしても触れなければならないことがあります。日本代表がブラジル代表に勝利しました！しかも前半良くなかったいくつかのポイントを修正して2点差をひっくり返しての勝利でした。嬉しい！もちろん親善試合で双方ともにベストの布陣ではなかった等、手放して喜べないという人もいるでしょう。しかしここは日本サッカー史上A代表が初めてブラジルに勝利したことを素直に喜びたいです。これまで多くのブラジル人選手が来日し、素晴らしいプレーを見せてくれました。Jリーグの発展はブラジルの選手や指導者に支えられてきたという一面も間違いなくあります。少しは恩返しのできたのではないかと思います。

つい先日ノーベル各賞の発表がありました。生理学・医学賞を大阪大学の坂口先生が、化学賞を京都大学の北川先生が受賞されました。双方とも各分野で広範囲に応用されることが期待されているそうです。お二人とも基礎研究への支援が十分でないことを訴えられていました。地道で地味な基礎研究の中にこそ社会の変革につながる新芽があることは歴史が証明しています。グローバルスクール生の中から基礎研究に打ち込み、周りに流されずにそれぞれ地道に研究を続けるような人材を輩出できたらと妄想が膨らみます。いや妄想ではないですね。きっと誰かがやってくれるはずですよ。

北川先生の研究は気体の貯蔵などに役立つ材料の開発につながるのだそうです。私にはイメージすら難しいですが、開発した物質には均一な穴が規則正しく開いていて、複数の物質が混在するガスから狙った物質だけを穴に吸着させ、分離や貯蔵が可能になるとのことです。資源の少ない日本にとっては大きな意味のある成果だそうです。その北川先生の言葉です。「運鈍根」。これは「運」と「根気」を組み合わせた言葉で、幸運に近づくには真摯な取り組みが大切だということです。さらに「幸運は準備された心にのみ宿る」ということもおっしゃっています。これはフランスの生物化学・細菌学者パスツールの言葉に由来するそうです。素晴らしい言葉ですね。いろいろなことに通じます。スポーツにも同様のことが言えますね。準備した以上のことはできない。しかし、運を呼び込むことができるのは、ただ待っている者ではなく、その方向に向かっていている者だということです。グローバルスクール生にも日々の地道な活動を丁寧に、大切に行う。それを継続する。この重要性を説いていきたいと思えます。

10月4日にプログラミングの体験授業を行いました。バディのミドルとシニアを中心に多くの子供たちが体験授業に参加してくれました。参加した園児の保護者の方々から「すごく感動しました。」等のお褒めの言葉をいただきました。もちろんそれは大変喜ばしいことです。しかし何よりも、園児のサポートをしてくれたグローバルスクール生の成長をうかがい知ることができて嬉しかったです。グローバルスクール生に要求したのは、リーバイ先生の英語を通訳し、作業の手順を園児たちに説明する。そしてなるべく手を出さずに園児が直接パソコンの操作を行うように見守るということでした。タスクとしては彼らの年齢を考えるとかなり高度だったと思います。しかし、参加してくれた1年生から3年生の子供たちは私が考えていた以上に上手に園児に接してくれました。参加してくれた児童からも楽しかったとか自分が教えた子ができるようになると嬉しかった等のポジティブな発言があったことも良かったです。11月29日に予定しているグローバルスクール生によるプログラミングの発表会がとても楽しみになりました。

子供たちにインプットすることももちろん大切なことですが、様々な形でアウトプットの場面を用意して経験してもらうことも同様に重要なことだと再認識しました。

さて、前回のGM通信でグローバルスクール生のことに具体的には触れなかったのですが、これに対して児童からクレームが入りました。「なぜ誰かのことを書かなかったのか。」と。確かに本田圭佑さんことを書いて、グローバルスクール生のことは書きませんでした。ということもあり、いつも通り児童のことに触れたいと思います。

私にクレームを入れてきた児童の話です。その1年生は前回書いた認知能力が非常に高く、国語、算数、そろばん、英語等で上の学年の児童を追い越しているような高い認知能力を持っています。しかし、自らの失敗を極度に恐れてしまい、なかなか新しいことにチャレンジすることができないのです。プログラミングの体験授業の前日も「うまく教えられなかったらどうしよう。」とずいぶん心配していたと保護者がおっしゃっていました。私も普段から「失敗してもいいんだよ。」という声掛けをするのですが、受け入れられません。でも自分がやらなければならない状況になり、いざやってみるとできるのです。当然です。能力が高いですから。プログラミングの体験授業はもちろん、世田谷園の運動会の時に行ったポップコーン販売でも大活躍でした。本人はできるかどうかを心配していたようでしたが。彼には前述したような成功体験を積み上げてもらうことも大切ですが、多くの失敗をして欲しいです。失敗から学ぶことも重要なことですが、何よりも失敗しても失うものは何もないことを知って欲しいですし、失敗した時こそ助けてくれる仲間が彼の周りにはたくさんいることに気づくでしょうから。大体心配事の95%は実際には起こりません。起こったとしても未来の自分が何とかしてくれるのです。これが私の持論です。

普段から大食漢の彼はお米が大好きで、将来は米作りをしたいそうです。こういう純粋で単純な動機はいいですね。大好きです。しかも日本の農業は変革期にあり、大きな成長が見込める分野です。直接的に米作りに携わることもいいですし、農業政策の立案に関与することも面白いですね。彼に刺激を与えながら能力を引き出したいと思います。

今回はここまでにします。

## SCHEDULE

### 【世田谷校】11月の主な予定

- 11月4日 (火) 運動会(有明校にて)
- 11月10日 (月) 金融
- 11月17日 (月) 農業実習
- 11月27日 (木) 金融

#### 自然科学

動物や野菜などにカタラーゼという酵素が含まれています。この酵素に消毒液をかけると酸素と水に分解してくれます。今回はそれを利用してフィルムケースをロケットにして飛ばしました  
いつ、発射するのかドキドキ!



### 【有明校】11月の主な予定

- 11月4日 (火) 運動会(有明校にて)
- 11月10日 (月) 金融
- 11月17日 (月) 農業実習
- 11月27日 (木) 金融

#### 農業実習

今回は「Root.Stem.Leaf」をテーマに植物のPartsを観察しながら“育てる・感じる・味わう”体験を行いました。それぞれのグループで、芽キャベツ・人参・赤大根・ブロッコリーの観察、定値、スケッチを実施。

さらに実物を見ながらPartsを書き込み「ここが根っこ!・この茎がないね!」と発言する姿が見られました。また、ローゼルの鮮やかな赤を観察しながらさつまいもや簡単てまり寿司作りに挑戦。秋の実りをいただきました。



バディグローバルスクールHP

第2回バディグローバルスクール生による  
プログラミング発表会  
日時：11月29日(土)  
第1部9:30～ 第2部12:00～  
学校説明会14:15～  
場所：バディグローバルスクール世田谷校  
(バディスポーツ幼児園芦花園舎 2F)  
TEL:03-5942-1830



第2回バディグローバルスクール生による  
プログラミング発表会申込フォーム